

競技規則

■ 競技者の義務

1. 競技者は、次のことを守らなければならない
2. 競技規則および競技の運営・管理上の規定および交通規則を順守すること
3. 競技中に引き起こした事故について、一切の責任を負うこと
4. 常にスポーツマンとしての言動を保持すること

5. 常に完全に整備された自転車を用いて競技大会に参加すること 主催者は整備スタッフを用意しない

■ 競技種別

カテゴリー	競技内容
レース<<A>>	チームTTはチームの3番目の選手のタイムを計測 チームTTのタイム順でA、Bのクラスに分ける。 (ただし、タイム差を考慮し競技委員長が決定します。) チームロードにはチームTTに出場した選手が出走。
レース<>	個人TTのタイム順でクラスに分ける。 参加者数、TTタイムのばらつき具合により、2クラス (A、B) に分ける。 (ただし、タイム差を考慮し競技委員長が決定します。)

各クラスともに年齢・性別を問わず参加できます。※高校生以下の方は、保護者の承諾書を受付時に提出してください。

■ 競技について

○各クラスとも、出走者サイン、装備のチェック後、

本部：二輪技術センターコース内ピット前にて待機してください。

待機場所からスタート地点までスタッフにより先導。

○TT・チームTT

- ・コースを単独または、チームで1周しタイムを競うレースとする。
- ・他の選手を押ししたり、走路を横切るなどの危険走行をしてはいけない。
そのような妨害行為を発見した場合、**失格処分とすることがある。**
- ・前走者に追いついたまま走行することを禁じる。10秒以上続いた場合には、**失格処分とすることがある。**
- ・追い越しが発生する場合、追い抜きは原則左側（外側）から行い、遅い選手は右側（内側）を走行するものとする。
- ・追い越し、追い抜きが発生する場合、追い越し、追い抜きする選手は追い抜く選手に必ず声をかけをすること。
- ・選手は、追い抜いた自転車の前方コースに入る場合は、約3m以上先行してからコースに入ること。
- ・**チームTTでは、先頭の選手から25m以上離れた選手は失格となり、
先頭の選手より25m以内に3番目の選手がいなかった場合には、そのチームは失格となる。**

○個人ロード・チームロード

- ・規定の距離を競う個人ロードレースとする。
- ・他の選手を押ししたり、走路を横切るなどの危険走行をしてはいけない。
そのような妨害行為を発見した場合、**失格処分とすることがある。**
- ・**各クラスともに、先頭の選手がバックストレート基準地点を通過時（おおよそ半周以上の差がある場合）、
フィニッシュラインを通過していない選手をレースから除外する。**
- ・残り周回を3周回以上残して、落車により遅れた場合、次の周回の集団最後尾での再スタートを認める。
次の周回での復帰が不可能な場合には、棄権とします。

○飲食料他など、スタート時に持参したものを、コース上や周辺に廃棄した場合は、レースから除外する。

○チームTT、チームロードに出場する選手はユニフォームとしてジャージ（上のみ）をできるだけ同一のものに統一するようにお願いします。

○機材に関して参加者各自の責任において整備を行い、競技規則違反にならないよう注意する。

○ゼッケン、計測用のチップは主催者の指定の通り取り付けること、従わない場合には、出走を認めない。

○選手は、レース中に主催者および救護スタッフからレースの中止を命じられた場合、直ちにレースを中止すること。

- 選手は万一重大な事故、緊急を要する事態が発生した場合、大会運営スタッフの指示に従うと共に、安全な状況の確保に努めること。
- 棄権する場合には、コースのスタッフに申し出て、レースコースの外側から本部前に来てください。
- 使用する自転車は、日本自転車競技連盟の競技規則集に準じた自転車で、競技に必要と認められない付属品を取り外したもの。
出走時に次のものは外してください。

・ポンプ・サドルバック

※スピードメーター、パワーメーター類については、

ネジ止めや専用アダプター等で簡単に外れないように固定すること。

バネにより挟んだだけで固定するタイプのハンドルアダプターの使用は禁止。

○カメラやスマートフォンなどで、走行中の画像や動画を撮影した場合には、即時レースから除外し、機材を没収するとともに、通信機能でクラウドやサイトに接続されていた場合には、賠償を求める。

- 参加者は、健康管理を確実にし、体調を整えて参加すること。
- 参加者は、必ずJCF公認のヘルメットを着用し競技に参加すること。
- 参加者は、スタート時間15分前までに出走者サインボードに署名すること。
受付及び署名「サイン」のない参加者は、欠場扱いとします。
※出走前のサインについては、使用する自転車と共にジャージに着替えてヘルメット、ゼッケン、グローブ着用で、そのままスタートできる状態で来てください。
運営スタッフにより装備のチェックをさせていただき、落車の際にご自身だけでなく他人にケガをさせてしまう危険性のある装備品については、その場で外して頂くことがあります。
ゼッケンは参加受付時にお渡しします。
- 参加者は、参加受付の後、必ず指定の時間にコースを試走すること。
- 機材交換については、他の参加者の競技に支障ないように注意してコース内での交換を認める。
- 飲食料の補給はエンデューロ参加者のみ、指定の場所にて行ってください。
- 競技中における負傷疾病等については、参加者の責任とする。また、健康保険証は必ず持参すること。
※参加者に対して「死亡・後遺障害：300万円」「入院（日額）：4,000円」「通院（日額）：2,000円」の保険に加入しています。補償内容に不安がある方は、各自で保険に加入されることをお願いします。
※自転車の破損・盗難などは保険の対象外となります。予めご了承ください。
※駐車場などでの事故や盗難などに関しては、一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 各クラス入賞者は、次回から上位クラスへのエントリーとする。

■ 順 位：TT、エンデューロ、ロードレースともにクラス別フィニッシュ着順による。6位までを確定し発表。

計測チップによる計測にて着順を確定します。

■ 表 彰

レース<<A>>

チームTT、チームロードレースともに1位から6位までが入賞とし、1位から順に30、18、9、5、3、1のポイントを付与します。

TT（チームの3番目の選手のタイム）	：着順の1位から3位までのチームに賞状
ロードレース	：着順の1位から3位までの個人に賞状
TT+ロードレース	：付与したポイントの合計1位から3位までのチームに賞状 ポイントが同数の場合、TTのタイムで決定する。

レース<>

個人TT、個人ロードレースともに1位から6位までが入賞とし、1位から順に30、18、9、5、3、1のポイントを付与します。

TT	：着順の1位から3位までの個人に賞状
ロードレース	：着順の1位から3位までの個人に賞状
TT+ロードレース	：付与したポイントの合計1位から3位までの個人に賞状 ポイントが同数の場合、TTのタイムで決定する。